

雛飾りによせて

大正三年、看護婦寄宿舎で初めての雛祭り(注)が開催され、その後年中行事となりました。

すべての看護師(注)が寄宿舎で生活していた時代から、通勤する時代へと変わっても、寄宿舎で行われる雛祭りは、看護師親睦会の行事として受け継がれてきました。

雛飾りもまた、その当時から、当院看護師に受け継がれ、大切に保管され、管理されてきました。

しかし、寄宿舎の改修工事や新病院への移転準備等、時代の流れの中で行事が見直され、平成十二年度から雛祭りは中止となりました。

その後雛飾りは、平成十九年から、二月～三月にかけての一ヶ月間、外来玄関ホールに展示されるようになり、こうして皆様にお目見えすることとなりました。

一体は、大正時代からこの病院と共にある由緒ある雛飾りと聞いています。

もう一体の雛飾りは、昭和五十六年、看護婦寄宿舎の改築にあたり新たに購入されたものです。

しばし足を止めていただき、憩いの時間をお過ごしただけなら幸いです。

九州大学病院看護部さくら会



お雛まつり (昭和30年5月発行の「若葉」再刊第1号より)

(注) 平成十四年法律改正により、「看護婦」は「看護師」へ名称変更となりました。